

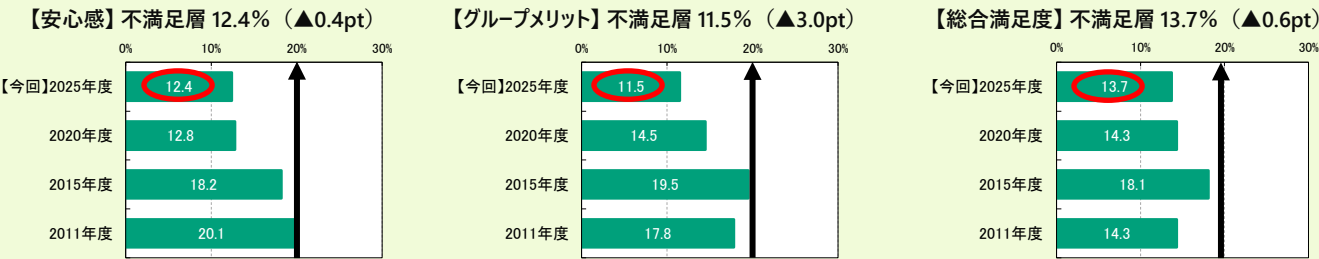
# 2025年度 会員アンケート結果のご報告

ベネッセグループ共済会が、概ね5年に1度のサイクルで実施している会員向けアンケートについて、今年度実施の結果をご報告します（前回は2020年実施）。

実施概要	実施目的	制度の認知度や利用状況・共済会に対する評価などの定点調査により、現状の課題及び今後の共済会の方向性・役割を明らかにするため。		
	調査期間	2025年7月1日～14日	対象人数	19,133人（2025年7月1日時点の会員が対象）
	調査方法	Webアンケート（無記名）	回答者数	3,458人（有効回答率18.1%）

## ●事業評価指標は目標数値を達成●

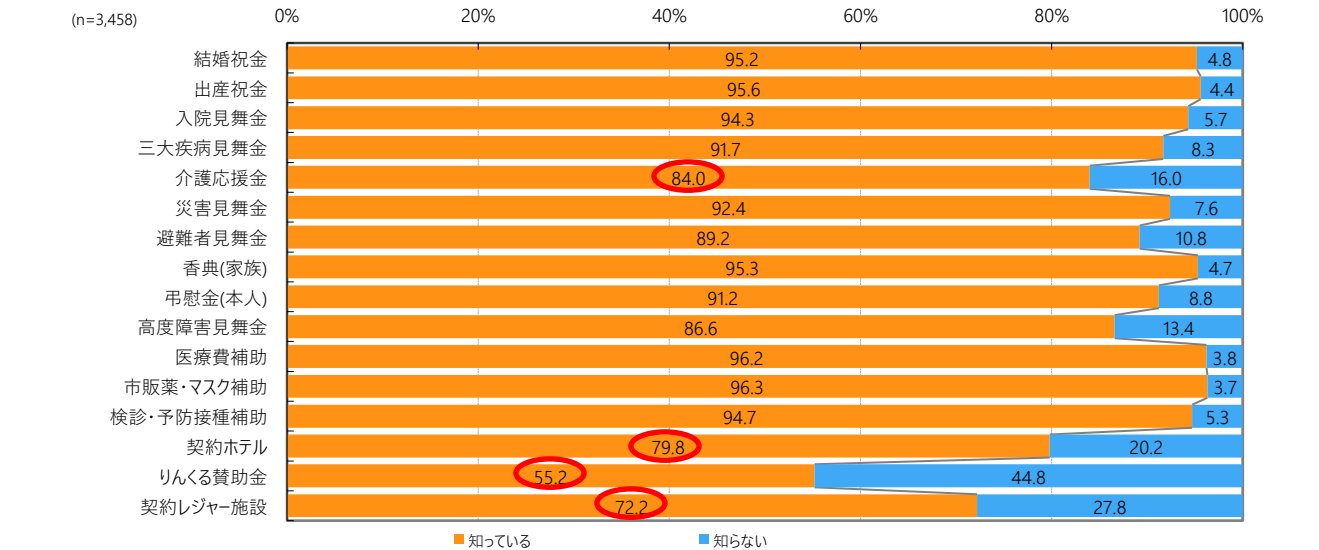
共済会は、①安心感、②グループに所属する「メリット」、③総合満足度の3つを事業評価指標としています。今回のアンケートでは、3つの指標ともに目標の「不満足層20%以下」を達成し、かつ、前回2020年のアンケートよりも不満足層は減少しました。



## 1. 各施策の認知度

共済制度・ヘルスケアサポート制度の認知度は高く、2024年度に開始した介護応援金も認知率は84%となりました。一方、余暇支援制度（契約ホテル・りんくる賛助金・契約レジャー施設）は他の施策と比較して認知率が低い傾向でした。

※2025年度に制度改訂した宿泊補助は、本設問の対象外



## 2. 実際に給付を受けたことがあるか

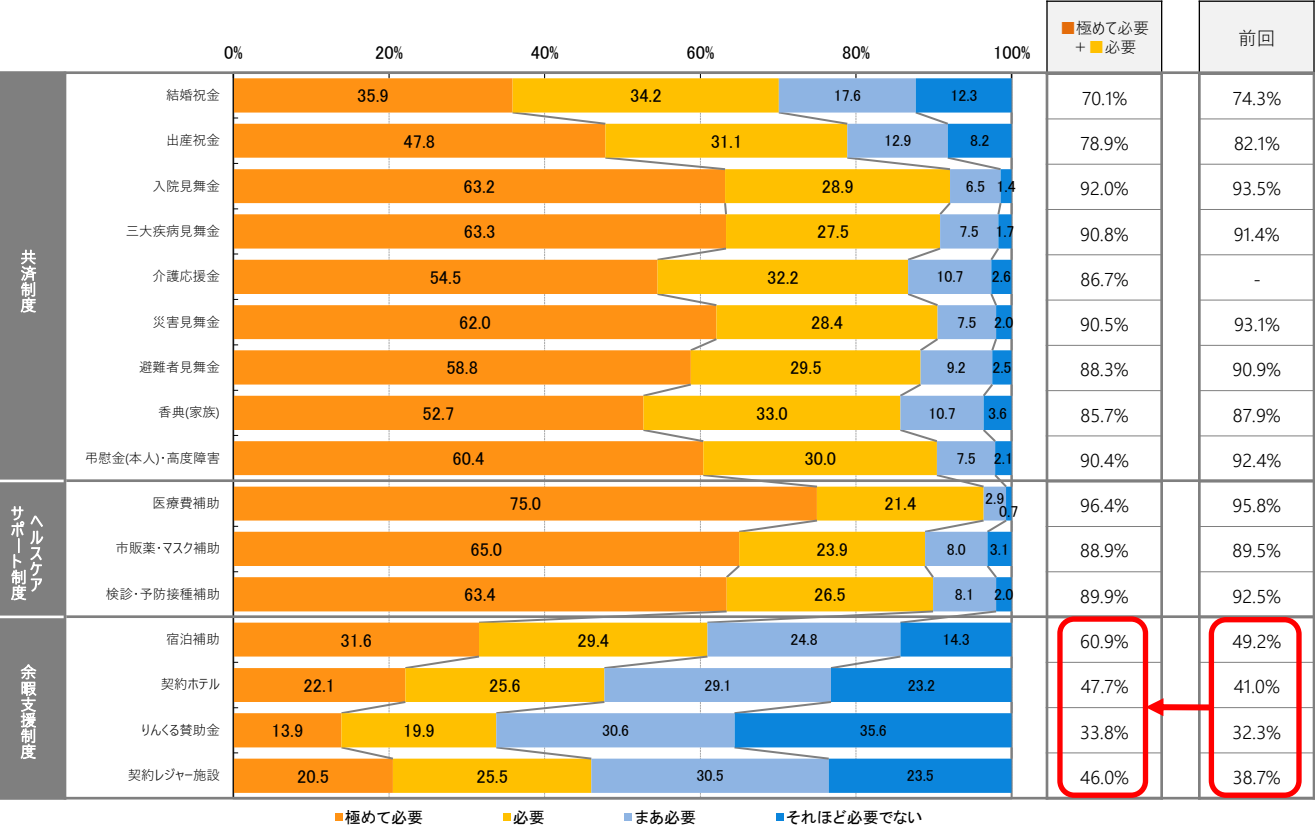
これまで実際に何らかの施策を申請して給付を受けたことがある人は、共済制度・ヘルスケアサポート制度は前回よりも増加しました。余暇支援制度は、認知率の低下と同様に、実際に施策を利用した割合も減少しました。

▼実際に給付を受けたことがある人の割合

制度名	今回	前回
共済制度	61.0%	56.0%
ヘルスケアサポート制度	86.6%	82.0%
余暇支援制度	16.4%	20.1%

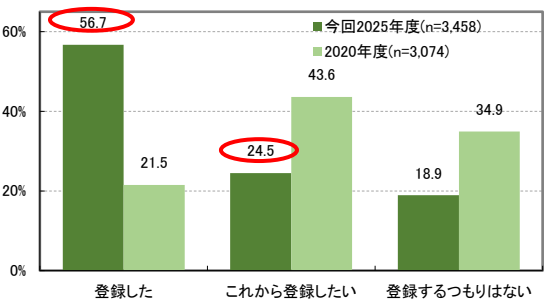
3. 各施策の必要性

それぞれの施策の必要性について質問したところ、共済制度とヘルスケアサポート制度は、前回アンケートと同様に、ほとんどの施策で必要性は高い傾向となりました。余暇支援制度は、他の制度と比較すると低いものの、前回より全ての施策で必要性が上がりました。



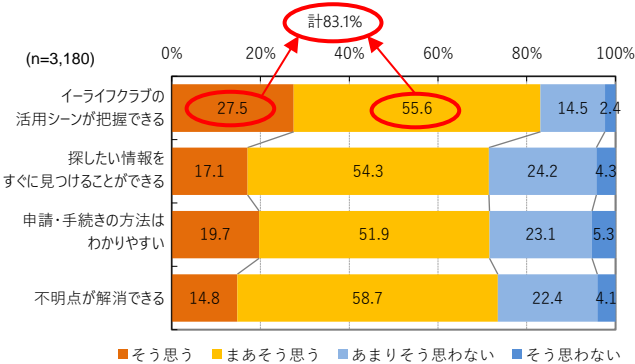
4. LINEの友だち登録

イーライフクラブのLINE友だち登録については、「登録した」が56.7%「これから登録したい」は24.5%で、合計8割を超えました。イーライフクラブからの情報がタイムリーに受け取れるLINE登録を、さらに促進します。



5. ホームページへの評価

イーライフクラブのHPについては、83%の方が「活用シーンが把握できる」と回答し、概ね高評価をいただきました。検索性や分かりやすさも更に向上できるよう、今後も継続して改善を行ってまいります。



アンケートにご協力いただきありがとうございました。  
これからの改善の指針といたします。

